

北海道開発局におけるウポポイ関連の 取組状況について



国土交通省北海道開発局は、2020年4月24日に一般公開し、年間来場者数100万人を目指す「民族共生象徴空間(ウポポイ)」に関して、内閣官房、北海道、アイヌ民族文化財団等の関係機関と連携し、施設の整備、誘客促進に向けた広報活動、アクセスの改善等を鋭意進めております。今般、改めて北海道開発局におけるウポポイ関連の主な取組の状況をご紹介します。

(施設の整備)

ウポポイ内の主要な建物本体は、概ね、年内に完成の予定であり、以降、管理運営法人であるアイヌ民族文化財団により開業前のリハーサル等が実施される予定。

(誘客促進に向けた広報活動)

内閣官房、北海道、アイヌ民族文化財団等と連携し、国際的イベント等におけるアイヌ文化の発信やウポポイのPRに取り組んでいるほか、当局関連施設を活用したPRを積極的に推進。

(アクセスの改善)

ウポポイへの交通アクセス改善を図る6箇所の道路整備を北海道開発局、北海道、白老町が連携して実施。令和元年度内に6箇所全てで開通予定(国道36号白老拡幅等)。

ウポポイの整備状況について

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

中核区域整備状況全体図



1 展望広場
ポロト湖への眺望を設け、自然景観で来園者をお迎えする演出



2 いざないの回廊
高さ3mの壁で視界を制限し、印象的な空間を演出

3 歓迎の広場
飲食や買物ができ、心地よい外の空間で賑わいを演出



4 エントランス棟
券売、インフォメーション、飲食・物販など来園者サービス機能の中心施設



5 体験交流ホール
アイヌ古式舞踊やムックリ演奏など来園者が一体となって楽しむことができる空間。半円形のステージ奥に、チセ（家）を望む借景窓を整備



国立アイヌ民族博物館（文化庁）
ポロト湖畔の自然景観等、周辺環境との調和
アイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進する展示・研究拠点
【施設概要】（延べ面積）約8,600㎡（規模）地上3階



7 伝統的コタン
チセ（家）を再現し、伝統的儀式等を体験できる空間



8 工房
アイヌが受け継いできた「ものづくりの技術」を見学や体験ができる空間

A 駐車場
一般車両用駐車場 246台

B ロータリー
バスの乗降所 9台
バス待機スペース 3台



6 体験学習館
伝統楽器のムックリ演奏体験やアイヌの食文化に触れる試食体験ができる施設

ウポポイの整備状況について



令和元年9月撮影

ウポポイの整備状況について

国立アイヌ民族博物館



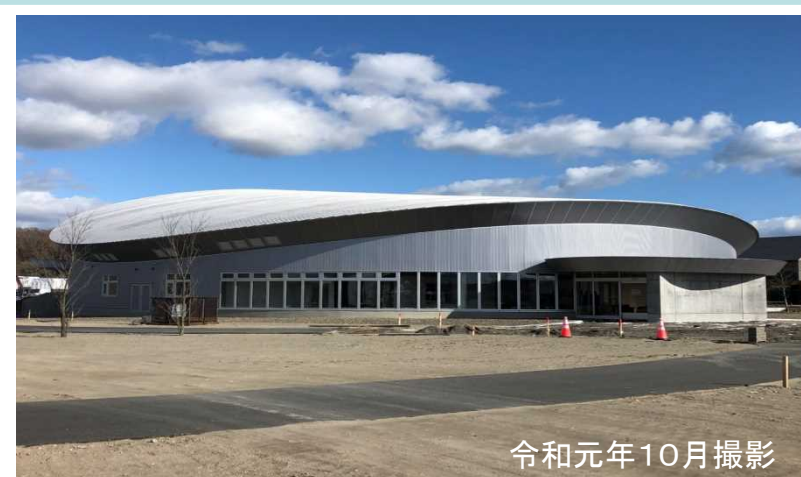
国立アイヌ民族博物館



体験交流ホール



体験交流ホール



ウポポイの整備状況について

体験学習館



工房



伝統的コタン



エントランス棟



魅力あるプログラムの提供(国立民族共生公園)

○来年4月24日のウポポイの一般公開に向けて、管理運営主体である(公財)アイヌ民族文化財団では、民族共生公園内で行われる体験交流プログラムとして来場者の見学・参加を通じて、アイヌ文化を五感で体験できる多様なプログラムを検討中。北海道開発局はハード整備・ソフト検討の両面に渡り、アイヌ民族文化財団が行う開業準備活動を支援しています。

※写真等はイメージ((公財)アイヌ民族文化財団提供)



○映像技術等による演出を加えた伝統芸能上演(体験交流ホール)



○アイヌ民工芸品の製作実演見学と製作体験(工房等)



○アイヌ伝統料理や伝統楽器等の体験(体験学習館)



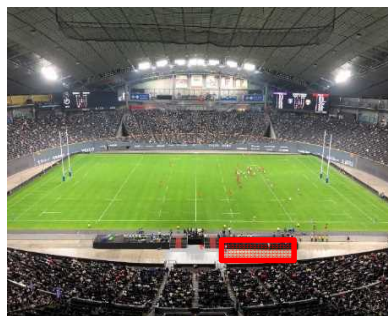
○伝統家屋チセ内における伝統儀式の見学(伝統コタン)

北海道開発局のウポポイPRの取組

○北海道開発局では、ウポポイの年間来場者数100万人を目指し、国際的イベント等における国が主体として行うアイヌ文化発信やウポポイPRに北海道庁・（公財）アイヌ民族文化財団等の関係機関との連携協働により取り組むほか、当局関連施設を活用したPRも積極的に推進しています。

2019ラグビーW杯札幌会場における アイヌ古式舞踊披露

9月、札幌ドーム開催の2日間に、試合開始前の会場において開催都市札幌市のホストシティパフォーマンスとして古式舞踊を披露



札幌ドーム
※赤枠部分が舞踊披露箇所



舞踊の様子は
場内スクリーンで大きく放映

ウポポイPRキャラクター「トゥレップン」 着ぐるみ発表

11月、札幌市内で開催された北海道旅行博会場においてウポポイPRキャラクター「トゥレップン」の着ぐるみお披露目イベントを開催



ステージで多くの観客を前に初登壇
作者の絵本作家「そら」と共演



PRブースでは、来場の子供たちにも好評
今後も各地でのプロモーションに登場予定

G20観光大臣会合における アイヌ文化・ウポポイPRの取組

10月、倶知安町で開催されたG20観光大臣会合の会場において参加の各国代表団・プレスに対し、アイヌ文化やウポポイの魅力をPR



各国からの参加者にアイヌの伝統衣装を
試着体験してもらい記念撮影



各国代表団・プレスに向けた鈴木知事
によるウポポイプレゼンテーション

北海道開発局関連施設でのPR

多くの方が訪れる当局関連施設において、ウポポイのPRポスターやチラシを設置し、認知度向上や機運醸成に向けた取り組みを実施中

1. 庁舎ロビーにおける展示（本局、開建、合同庁舎）

2. 全道の「道の駅」等における広報

全道の道の駅（124箇所）等におけるポスターの掲示、
パンフレットの設置など

民族共生象徴空間 アクセス道路事業概要(令和元年度開通予定)

○令和2年4月24日に開設予定の民族共生象徴空間(白老町)への交通アクセス改善を図る6つの道路整備を各事業連携しながら実施しています。



ウポポイへの年間100万人の来場を目指して 令和元年度にアクセス道路が開通します



令和2年4月24日 一般公開予定

新千歳空港・全道各地
からのアクセス改善

至札幌

JR白老駅

高速IC・白老駅
からのアクセス改善

①国道36号 白老拡幅(4車線拡幅)
【北海道開発局】



令和元年度末 開通予定

②駅前通(白老駅駅前広場)【北海道】



令和元年度末 開通予定

⑤町道末広東町通り(自由通路)【白老町】



令和元年度末 開通予定

④白老大滝線(歩道拡幅・踏切道拡幅)
【北海道】



令和元年度末 開通予定

③公園通(歩車道拡幅)【北海道】



令和元年度末 開通予定

⑥ポロト公園線(歩車道拡幅)
【白老町】



令和元年11月 開通済

※イラストは、各事業の完成イメージ図です